



平成29年度 第6回 理事会議事録

- 日 時 ; 2018年4月5日(火) 19:00~21:00
 場 所 ; キナシ大林病院 3階会議室
 出席者 ; 高橋、荒井、宮川、泉宮、横内、唐木、小林、小原、平内、太田、高杉、森本、多田、時岡、山本、佐久間
 欠席者 ; 松村、香川、安毛
 司 会 ; 高橋
 書 記 ; 山本
 議事内容 ; 1. 平成29年度決算報告・監査報告について
 2. 平成30年度予算について
 3. 第42回香川県医学検査学会について
 1) 総会議案書確認
 2) 永年表彰
 3) 総会手順
 4) 役員改選
 5) 公益目的支出計画実施報告書
 4. 香川県がん対策推進協議会委員等の推薦について
 5. その他

議事1. 平成29年度決算報告・監査報告について

精度管理事業・広域社会事業は、そもそも予算の段階でそれぞれ20万円の赤字を作るという計画になっていたが、確実に予算を実行できた。また、全科目の当期経常増減額は黒字であった。活動をしっかり行い、節約するところはして増加額を得た。今後は事務局・技師会館のネット環境やNTTモバイル料の見直しを行い、さらなる費用節減を目指す。

議事2. 平成30年度予算について

平成29年度に沿って予算書を作成した。精度管理事業・広域社会事業は議事1でも述べたように20万円の赤字を作るという計画としている。また、平成30年度に香川県で開催する中四国支部医学検査学会は特別会計となるが、多少の影響はあるだろうと考え、一部費用を予算書に上乗せした。

議事3. 第42回香川県医学検査学会について

- 1) 総会議案書確認
メールにて送った資料を各自参照。
- 2) 永年表彰
平成30年度は8名が対象。現在のところ、このうち2名が当日参加予定。今回の総会より表彰式は総会の前に行う。永年表彰は現在20年目で表彰となっているが、40年目など上を作るのであれば、要望を理事会にかけ審議する。
- 3) 総会手順
議長、副議長、書記、議事録署名人の候補者を挙げた。総会の進行表は議長など決定すれば作成を行い、役員で確認する。
- 4) 役員改選
平成29年度で唐木孝雄福祉部長、香川昭博理事、安毛浩監事が退任となる。平成30・31年度役員定数は17名、立候補届提出数は現在のところ14名。
- 5) 公益目的支出計画実施報告書
検査と健康展などの報告書を和田先生へ送った。今後監事2名の印が必要となる。

議事4. 香川県がん対策推進協議会委員等の推薦について
以下の通り委員交代の検討を行った。

委員会名	現在までの担当者	今後の担当者
協議会委員	高橋 宗孝	荒井 健
子宮がん部会委員	船本 康申	検討中
大腸がん部会	小原 浩司	小原 浩司

議事5. その他

- ▶ 香川県知事表彰について
りつりん病院の池田氏が受賞される。
- ▶ 技師会費の増額について
会費増額を検討していることについては様々な意見があると思うが、香臨技の会員でなければ香臨技の研修会はもちろんのこと他都道府県の研修会でも参加料を多く徴収されるということを会員に周知する。また香臨技の研修会でも『会員でない場合1万円を徴収する』旨を掲示しておく。
- ▶ 臨検タイムスの発行について
印刷費抑制のため、今後はホームページを整備し会員に活用してもらおう。初期費用は発生するが、ホームページの毎月の管理料は3万円程度。意見として『ネット環境がない人もいるのでなくしてしまうのはどうか』との意見もあったが、時代の流れもあり、今後はスマートフォンや職場のパソコンで見えるようにしてもらおう方向でいく。他県は配布しておらず、総会で承認をとる。

《研修会のご案内》

① 平成30年度 第1回 輸血検査研修会

連絡責任者：徳住 美鈴 ☎087-831-7101（内線8307）

日 時：平成30年6月16日（土）14：00～16：00

場 所：高松赤十字病院 研修センター2階 大研修室

内 容：講演1；輸血検査の基礎（仮）講師は未定（オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス株式会社）
講演2；血液製剤の基礎 佐藤美津子（香川県赤十字血液センター）

参加費：200円 生涯教育研修：専門20点

② 平成30年度 第1回生理検査研修会

連絡責任者：渡邊かおり ☎087-831-1701

日 時：平成30年6月17日（日）10：00～12：00

場 所：高松赤十字病院 4階会議室

内 容：肺機能講義＋CPX実習 中塚 惇（ミナト医科学）、清水 恭（日本光電）

参加費：200円 生涯教育研修：専門20点

申込み：日臨技ホームページより参加登録をお願いします。

③ 平成30年度 香臨技・四県合同研修会（免疫血清検査研究班）

連絡責任者：谷本 光章 ☎087-877-0111

日 時：平成30年6月24日（日）9：00～15：30

場 所：香川県立保健医療大学 講義棟3階大講義室

内 容：主 題；「自己免疫疾患」詳細は臨検タイムスに同封した研修会案内をご確認ください。

参加費：3,000円 生涯教育研修：専門20点

申込み：研修会案内の参加申込書に記入しFAXもしくは郵送にてお申し込みください。

期 限：平成30年5月25日（金）

* 研修会の参加には、会員証を必ず御持参ください。

注. 臨床検査技師免許取得の方で非会員の場合は、参加費として5,000円を頂きます。尚、学生は無料。他職種の方は、会員と同額です。

研修会については、香臨技、および日臨技ホームページをご参照下さい。

平成29年度 香川県臨床検査精度管理研修会を終えて

宮川 朱美 (医療法人財団博仁会 キナシ大林病院・精度管理委員会委員長)

はじめに

平成30年3月18日(日)、香川県社会福祉総合センターにて香川県健康福祉部医務国保課主催による精度管理研修会が開催されました。この研修会は、平成29年度臨床検査施設及び衛生検査所外部精度管理調査(香川県・香川県医師会・香川県臨床検査技師会)の解析結果の報告会として実施されました。

さて、ご存知のように、この外部精度管理調査は、平成9年度からはじまり、平成29年度で21年目を迎えました。今回の精度管理調査は92施設の申し込みがあり91施設が参加、臨床化学、免疫血清、血液、輸血、一般、生理、微生物、病理細胞診検査の8部門において実施されました。8部門の実施を開始して今回で9年目となり、前回同様、キナシ大林病院と三豊総合病院を拠点とし、香臨技会員をはじめとする関係者のお力を借り、測定試料を配布しました。調査開始当初から、臨床化学・血液検査部門の調査は、できるだけ新鮮なヒト血清および血液を配布することをモットーとしているため、血清試料は1週間以内のプール血清から作製したものを、全血は香臨技会員ボランティアから提供していただいた血液を使用しています。まだまだ改善すべき点は多々あると思われませんが、今回も精度管理委員および協力関係者の皆様のおかげで、滞りなく調査が実施され、例年通り報告書が完成し研修会を開催することができましたことを改めて御礼申し上げます。

概 要

昨年から実施している全体評価(正解率による点数評価:精密さの評価が実施できなかった2施設を除いた89施設で実施)の結果は、100点が18施設、100点未満95点以上が31施設、95点未満90点以上が10施設、90点未満が30施設でした。研修会では総括で全体評価結果をグラフ化し報告しました。さらに、今回から各部門評価として正解率に基づいた点数化を実施、施設別報告書に記載するとともに、送付時には、医務国保課からの意向で全体評価が90%未満の施設には改善を促す文章を同封いたしました。改善が必要とされた施設は、早急な改善をお願いいたします。当委員会も微力ながら協力させていただきますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。部門別の参加施設は、臨床化学検査部門80施設、免疫血清検査部門 CRP 72施設、甲状腺マーカー24施設、前立腺特異抗原26施設、HBs抗原33施設、血液検査部門 CBC 80施設 末梢血標本作製と普通染色・白血球分類33施設、輸血検査部門43施設、不規則抗体検査30施設、一般部門 尿沈渣フォトサーベイ49施設、生理検査部門50施設、微生物検査部門 塗抹標本の染色と鏡検査27施設、微生物検査関連フォトサーベイ26施設、病理細胞診検査部門組織標本の染色サーベイ12施設でした。

各施設のモチベーションを高めるために平成21年度から実施している優良施設の表彰は、平成29年度は46施設が該当しました。優良施設と認定された施設には、表彰状が届いていることと思います。今後、ますます増えることを期待します。

臨床化学検査部門のドライケミストリーについては、昨年度と同様にメーカー別評価を実施し、1項目でもドライケミストリーで測定している施設には2種類の施設別報告書を送付いたしました。今回の調査で使用されていたメーカーは2社で、精密さ、正確さ評価基準および目標値について各社と協議の上設定いたしました。今回、ドライケミストリー測定で参加した施設は17施設あり、そのうち、全ての結果が許容内の施設は5施設でした。また、今回から新しい試みとして、1名のボランティアから配布前々日に採血した検体を配布し、今年度は、Na、K、Cl、LD、中性脂肪、尿酸について調査を実施いたしました。いずれの項目においても、プール血清を使用時と比較して目標値および基幹施設の結果との乖離は少ない結果となりました。今後もこのような調査を含め、ドライケミストリーの評価方法については検討を重ねていきますので、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、ご存知のように、平成29年6月の第193回国会におきまして「医療法等の一部を改正する法律」が可決され6月14日に公布されました。臨床検査に関することでは「検体検査」という文言が法律に記され、今まで曖昧だった検体検査の品質・精度管理に関わる基準が定められることとなりました。現在までの協議で、外部精度管理調査は努力義務となつてはいますが、検体検査の品質を担保するために各施設の一層の努力を期待する次第です。当委員会の精度管理事業につきましては、私自身、まだまだ力不足のため参加施設の方々にはご迷惑をおかけするとは思いますが、その都度、検討と改善を重ねていきますので今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

日臨技からのお知らせ

「検体採取等に関する厚生労働省指定講習会」について

平素は、当会事業にご理解と、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、平成26年「臨床検査技師等に関する法律」等の一部改正により、新たに追加されました「検体採取」並びに「嗅覚・味覚検査」の業務を行なおうとするときは、厚生労働大臣が指定する研修を受けなければならないとされ、日本臨床衛生検査技師会が行う研修が厚生労働大臣から告示指定されています。

臨床検査技師免許の取得者については、5年を目途に全員が受講することを目指し、全国9地区で講習会を開催しており、平成27年1月の開始から3年が経過した現在、7割弱が受講を終えています。

4年目となる今年度から、開催地区での開催回数を順次縮小し、9会場のうち、平成30年度は東京都、大阪府、愛知県、広島県以外の5地区については年1回のみで開催予定でございます。

つきましては、まだ受講されていない方は、急ぎ受講申し込みを行なってください。

また、自身の勤めるご施設で受講されていない方がいらっしゃいましたらお声掛けください。

本講習会が個人のライセンス付与に関わることをご理解いただき、ご協力の程、宜しくお願い致します。

*受講申込みは日臨技ホームページよりお願いいたします。 <http://www.jamt.or.jp/training/>

・ 編集後記 ・

陽春の候、田んぼを耕すトラクターの後ろを鳥たちが集まり飛んでいる姿が見られる季節となりました。

先日、糖尿病教育の研修会に参加しました。看護師や薬剤師、管理栄養士や歯科衛生士、医療事務の方など様々な職種の方が参加されていて、グループワークでは各々の立場から糖尿病指導についての意見を交わすことができました。病院における「チーム医療」と同じです。また、研修会の最後に講師の先生が、「患者さんを指導するというより、サポートしていただく」とおっしゃった言葉が心に残りました。これは、技師が検体採取や検査説明を行う際にも心に留めておきたい言葉だと思えます。

さて、香臨技は今年、役員改選の年です。11月には中四国支部医学検査学会も控えています。会員の皆様、および賛助会員の皆様には、今後とも技師会活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

小林 万代 (海部医院)



～ 香臨技 求人情報 ～

現在、数件の求人があります。詳しくは、香臨技ホームページをご覧ください。

臨検タイムス原稿送付先
〒761-0104 香川県高松市高松町2365
医療法人社団 海部医院
小林 万代まで
TEL087-843-3666 FAX087-843-3667
Eメール: kobaboobu0128@hotmail.co.jp
*臨検タイムス香川は、香臨技ホームページで
見ることができます。
(ユーザー名 karingi2008 パスワード 0001)

臨検タイムス香川 通巻 273 号

【発行所】
一般社団法人 香川県臨床検査技師会
〒761-0704 香川県木田郡三木町下高岡2695-13
事務局携帯電話 090-5913-1385
【編集責任者】 小林 万代 山本 直子
【編集委員】 藤重 和久 十川 直美 森西 起也
【印刷】 有限会社シーアンドシーイシハラ
平成30年4月印刷・発行